

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	定住促進対策事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	平戸市	総務部 地域協働課	内野 愛子	0950-22-4111
事業期間	開始年	平成 18 年 4 月 1 日 (10 年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 []			
実施期間	(開始日) 平成 28 年 4 月 1 日 (完了日) 平成 29 年 3 月 31 日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・平戸市にUIターンを希望する方 ・平戸市での生活に興味がある方 	平戸市の自然・文化・風土を活かした体験、歴史等を知ることができる観光ツアーや移住定住に係る現地案内、首都圏等での移住希望者に対するPRを実施することにより、平戸の魅力や移住定住施策を伝え、定住促進に努める。		
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	①長崎県移住相談会(東京・大阪・福岡)での定住に関する情報発信 県主催の田舎暮らしキャラバン(東京・大阪・大阪)において定住相談ブースを設置し、定住PRや相談を実施 ②「西日本新聞主催 移住定住フェア」(福岡)での移住・定住に関する情報発信 福岡(大丸エルガーラ)にて行われた西日本新聞主催のイベントに参加し、定住相談ブース設置し、本市への移住相談およびPR行った。 ③本市への移住希望者および今後の行政施策の参考とするため、前年度に本市の移住定住関連の補助を受けた新規転入者に対し、移住アンケートを実施した。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 平成 18 年度から長崎県「田舎暮らし総合プロモーション事業」の協働市町として定住事業に取り組み現在に至る。			
	(経緯・現状) 2007 年問題(団塊の世代の大量退職)に係る事業として、都市部からのUIターン者の定住に向けて人口減少に歯止めをかける。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		799,098円	300,578円	483,279円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	532,732円	200,385円	322,186円				
	一般財源	266,366円	100,193円	161,093円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	定住者の増加	定住者 20 人	人	目標	20	20	20
					実績	4	53	65
				目標達成率 (%)	20	265	325	
	②	お試ステイプログラム	お試ステイプログラムの参加者-人 (-組)		目標	10	-	-
					実績	6	-	-
				目標達成率 (%)	60	-	-	

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性)	(必需性)	
	<input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等)	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		前年度から移住促進のための新たな補助制度や空き家バンク制度を設置した事で、移住者希望者へのPR材料が増えたほか、移住者と行政の移住担当とのつながりができたことで移住者現地での案内内容も充実してきた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 平成27年4月施行の移住・定住者向けの新たな補助制度や“空き家バンク”制度の周知を盛り込んだ更なる情報発信に努め、定住希望者受入の体制作り(横断的な庁内間、組織間の連携、空き家の確保等)を強化する。また、現地案内では、移住希望者の移住後のイメージを掴みやすいよう、事前に細やかな情報提供やアドバイスに努める等、定住者の増加に繋げる。		
実施予定 期 日	H29.4			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		人口増加に関する事業がない。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		お試しステイプログラムについては、現在行政が実施しているが、今後は更に民間活力を導入し、NPO等外部団体への委託を検討する余地がある(現在、移住定住関連の外部団体なし)。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保			
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		事業について、受益者負担をするような事業はない。		

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	引き続き、移住・定住者向けの新たな補助制度や“空き家バンク”制度の更なる周知・情報発信に努める一方、“空き家バンク”の登録件数の拡大に努める。また、移住者の集える場の創出、現地案内・相談を行う上で協力してもらえる移住者の確保等にも力を入れ、移住者の増加への取組だけでなく、受入移住者の定住につながるよう努める。				